



ジッダ日本人学校だより

Jeddah Japanese International School News

【教育目標】

心豊かに学び、たくましいジッダっ子の育成
～かしこく・やさしく・たくましく～
令和5年(2023年) 6月8日 NO. 5

TEL : 664-3437 FAX : 664-2963

HP <http://jjs-japan.com>

E-mail jjssa@jjs-japan.com

校長 新谷 太郎

世界が身近になってきました

先月より、学校からホームページやInstagramなどの情報発信の回数を増やしています。ぜひ、ご覧になってください。授業、学校行事、校内の施設設備など、学校に関するいろいろなものがアップロードされています。見ていただくと、ICT機器を活用した授業では思考力を高める課題を解いたり、プログラム学習をしたり、他の学校と交流したり、たくさんの方のことを学習していることがわかります。また、日本と同じ学校行事やジッダならではの学校行事も紹介しています。

今回は、ビーチサッカー日本代表チームに来校していただいた縁で、日本サッカー協会のホームページにもジッダ日本人学校のことが紹介されました。その反響は大きく、学校のInstagramなどの閲覧者数も増加しています。より多くの人にジッダ日本人学校のことが紹介されました。右のQRコードは学校ホームページとInstagramのものです。まだご覧になってない方は、一度ご覧になってください。ジッダ日本人学校のことがよくわかると思います。



学校ホームページ



JEDDAH_JAPANESE_SCHOOL

学校Instagram

日本から離れてこそ 心が温かくなりました

日本人学校には、いろいろな方が来校して下さいます。5月28日(日)には、ビーチサッカー日本代表チームの皆さんに来校していただき、交流会を行いました。今回、代表チームの皆さんは、ジッダで行われた国際大会に出場するために来沙し、出場した大会では3位になったそうです。交流会当日は、帰国までの貴重な時間を割いて来校していただきました。



写真右：話を聞いたり質問をしたり、盛り上がった交流会
写真左：代表選手とシュート練習をしました



交流会後に、子ども達の手書のお礼の言葉や感想を紹介します。

#ジッダ日本人学校に来てくださり、ありがとうございました。蹴ったボールが高くまで上がってとてもビックリしました。これからもお元気で、がんばってください。

#日本代表の人に会うのが楽しみでした。しかも目の前で練習を見たり、一緒にやったりして、短い時間でしたがとても楽しかったです。ありがとうございました。

子ども達全員分のお礼の言葉を、日本サッカー協会に送ったところ、返事が届きましたので紹介します。

ジッダ日本人学校の子ども達と交流をしました。こういった素晴らしい交流の機会はビーチサッカー日本代表として2016年のドバイ以来と実に7年ぶりとして記憶しております。

短い時間ではありましたが、子ども達とボールを使って楽しんだり、子ども達から選手への質問コーナーがあったりと、子ども達の無邪気さや純粋さを感じることができました。また、子ども達の笑顔や興奮する姿を見ることで、自分自身の喜びや幸せを感じることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。このような交流会は、子ども達とのつながりを築き、子ども達の成長や社会貢献を推進する貴重な活動であると感じています。子ども達にとってだけでなく、我々ビーチサッカー、そしてサッカーファミリーにとっても大きな喜びや学びをもたらしてくれると思います。今後も交流会の機会があれば続けていきたいと考えます。田畑 輝樹

松尾那緒弥選手 田畑輝樹コーチ 山田貴仁選手



新型コロナウイルスが蔓延する前では行われていた現地の日本人学校訪問ですが、今回、およそ7年ぶりに日本人学校に招待していただき訪問させていただきました。

子ども達は5人という少ない人数でしたが、ビーチサッカーボールを使い一人ひとりと触れ合うことができ充実した時間を過ごすことができました。

ジッダ日本人学校の皆さんにお礼を伝えたり質問してもらったり激励の言葉もいただき、ビーチサッカーというマイナースポーツの選手達ですが、日本代表としての自覚を再認識することができ、さらにたくさんの笑顔に元気をもらうことができました。

また、いろんな国に行った時には現地のサポーターの皆さんと交流できることを楽しみにしています。ジッダ日本人学校の皆さん ご招待頂きありがとうございました。松尾那緒弥

サウジアラビアのジッダ日本人学校を訪問しました。短い時間ではありましたが、一緒にボールを蹴ったり子ども達の質問に答えたりと楽しく交流することができました。日本から遠く離れたサウジアラビアという国で、日本人の皆さんとかかわりを持つことができ嬉しく思います。今回の交流によって、子ども達が少しでも日本のサッカーに興味を持ってもらえたのなら幸せです。これからもこのような機会があれば積極的に参加していきたいと思います。山田貴仁

子ども達のお礼の言葉はもちろん代表選手の返事を読んで、本当に代表チームを学校に招待してよかったと思っています。子ども達はビーチサッカーという競技は知らないかもしれませんが、もしかしたら日本代表もまだよくわかっていないかもしれません。でも、「学校にサッカーのすごい人たちがきてくれた。」と思い出に残り、ジッダ日本人学校で楽しい時間を過ごしてよかったと思ってもらえたら、私たち教員も代表選手もとても嬉しく思います。

また、私たちも選手から感動や勇気をもらうことができましたが、私たちも選手を元気づけられたと思うとさらに嬉しく思います。なかなかこんな体験は日本の学校ではできませんが、日本人学校ならでと思えます。